

この夏、哲学をはじめよう

第39回

夏期哲学講座

2019 8 | 10 土 13:30 - 12 月・休 15:15



人はどこから来てどこへ行くのか――

あなたの周りには、哲学する場があるでしょうか
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で三十九年目を迎えるこの夏期哲学講座は
直に人と出会い、人と対話して、
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷
日本海をのぞむ「哲学の博物館」
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



石川県 西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126

石川県かほく市内日角井 1

TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320

Email nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

<http://www.nishidatetsugakukan.org/>

開館時間 9:00 ~ 21:00 (展示室は 17:30 まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

交通アクセス

- 車利用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分
のと里山海道「白尾I.C.」～約5分
- 電車利用：JR金沢駅～IRいしかわ鉄道経由・
七尾線(約25分)～宇野気駅

- 日時 令和元年8月10日(土) 13:30 ~ 12日(月・休) 15:15
■会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1)
■定員 65名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
■受講資格 18歳以上

- 受講料 [一般]15,000円 [学生/かほく市民]10,000円
※11・12日の昼食と10・11日の夕食の計4回分の食事がつきます。
※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。
※宿泊を希望される方は、別途に宿泊費が必要となります。

■宿泊方法

- ◎ 合宿 ・概要: 哲学館に隣接する「かほく市宇ノ気老人福祉センター」にて、大広間・中広間に男女に分かれて、蒲団を並べる「合宿」となります。お風呂は施設内の大浴場を利用できますが、石鹸・シャンプー等の洗面用具などはございませんので各自ご持参ください。
・申込: 講座申込時に「合宿を希望する」としてください。
・定員: 40名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
・費用: 2泊 5,000円 ※11・12日の朝食、計2回分の食事がつきます。
- ◎ 旅館 旅館は各自でご予約ください。 参考までに、宇野気駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。
なごみ亭 (076)283-5550 [JR宇野気駅から徒歩2分] ※旧さか井や旅館

■交通アクセス

- 哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。
・自動車: 北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。
のと里山海道(白尾IC)から約5分。
・電車: JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。
宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。
・飛行機: 小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

- ◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。
時間の都合が合うようでしたらご利用ください(なごみ亭を経由します)。

| | 〔行き〕 宇野気駅発 | 〔帰り〕 哲学館発 |
|--------|-------------|---------------|
| 10日(土) | 12:05、13:00 | 18:35 (高松海岸発) |
| 11日(日) | 8:15 | 18:50 |
| 12日(月) | 8:45 | 15:35 |

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。
時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

- 申込締切 令和元年7月21日(日)
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地
TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp



■ 申込方法

下記①～⑩の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵送、メール、FAX可)。
 申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。 (*マークは、いずれかをご記入ください)

- ①名前(ふりがな) ②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。
 ③住所・郵便番号 ④性別 ⑤年齢 ⑥参加回数 ⑦職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。
 ⑧「老人福祉センター」での合宿を *希望する/希望しない
 ⑨〔⑧で合宿を希望しない方のみ〕「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを *利用する/利用しない
 ⑩参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)
 ○(11日)研究会Ⅰ…… *第1希望 A / B / C / D / E、 *第2希望 A / B / C / D / E
 ○(12日)研究会Ⅱ…… *第1希望 A / B / C / D / E、 *第2希望 A / B / C / D / E
 ※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。
 ⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程でお書きください(研究会で自己紹介に使われることがあります)。

※上記項目のうち、都道府県および①⑥⑩⑪は、受講生に配布する冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。
 また、この個人情報は、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。

◇受講生による研究発表が11日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。
 ※発表時間はお一人15分程度となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

| | 講師 | 8月11日(日) 研究会Ⅰ | 8月12日(月・休) 研究会Ⅱ |
|---|---------|---|---|
| A | 美濃部仁 | フィヒテ『人間の使命』を読む —良心の声とは何か— | 西田とジェームズの純粹経験 |
| | 講師のコメント | 人間には「良心」があるということに、カントやフィヒテは道徳の可能性を基礎づけています。それに対する西谷啓治の批判も参照しつつ、主にフィヒテの『人間の使命』を読みながらその考えを検討します。 | 西田の『善の研究』はジェームズの「純粹経験」概念から大きな影響を受けています。しかし、西田の「経験」についての考えはジェームズと同じではありません。テキストを読みながら二人の「経験」理解を検討します。 |
| B | 大橋容一郎 | 西田の『哲学概論』に見る「形而上学」 —ブツセ、ロツツェと純正哲学— | 音楽と哲学 —近代の西洋音楽と哲学思想との関係— |
| | 講師のコメント | 1910年以降、西田は長年にわたって『哲学概論』の講義を行いました。そこで語られた「形而上学」の概念のありかたは、思想史的にもさまざまな興味深い特徴を示していますが、同時に西田哲学自体の基本的方向性を示すものであります。 | モーツァルトのオペラの歌詞が語る哲学とは。音楽を形而上学の練習と述べたショーペンハウアーは、なぜロッシニを好んだのでしょうか。ワーグナーとニーチェが古ゲルマン思想に魅入られた理由は。近代哲学思想から西洋音楽の位置を見直します。 |
| C | 大熊 玄 | 精神分析から見た禪 | 鈴木大拙の「無心」とはなにか |
| | 講師のコメント | 『自由からの逃走』の著者 E. フロムが、鈴木大拙に教えを受けて書いた「精神分析学と禅仏教」を読みます。フロムの言う「Well-being」や「無意識」等は、禅とどのように交わり、すれ違うのか。フロムを補助線に「禅」について考えます。 | もともと「言葉に頼らない(不立文字)」はずの「禅」「無心」の体験を、大拙がどのように、言葉で表現しようとしているか。大拙の『無心ということ』を読みながら、「即非の論理」について一緒に考えたいと思います。 |
| D | 鈴木亮三 | 西田幾多郎『善の研究』宗教編を読む | 自分自身から問い直す信仰の行方 —西田幾多郎から高橋里美まで— |
| | 講師のコメント | 西田の宗教論の出発点に位置するこの論考は、今日的な眼から見ても古びていません。時代背景などについても哲学的に紹介しつつ、テキストを読み解き、汎神論の問題、哲学者の神などの問題に立ち入って検討します。 | 西田ら明治生まれの哲学者たちは、既存の制度に依らずに自分自身で宗教とは何かを問い直しました。これは同時代の西洋の哲学者の主要な営為でもありました。西田やベルクソンなど、様々なテキストを読み、この問題の本質について検討します。 |
| E | 石井砂母亜 | 人間はなぜ裸でいられないのか? —自他を切り結ぶ繋ぎ目としての「衣」— | 三木清『人生論ノート』を味わう —「幸福」「嫉妬」「希望」「死」— |
| | 講師のコメント | 「人間はなぜ裸でいられないのか」、この素朴かつ根源的な問いを灯火として、纏うということについて考えます。この問いを通して、他との断絶を生き、かつ他との和解の可能性にも開かれた人間存在に迫りたいと思います。 | 三木清『人生論ノート』から「幸福」「嫉妬」「希望」「死」の4つを主題として、各項目を丁寧に読み解きます。三木の議論に沈潜しながらも、各テーマにおける気づきを分かち合いながら、皆さんと共に自己の輪郭を描いていきたいと思います。 |

第39回夏期哲学講座 日程と講座内容

| 時間 | 8月10日(土) | 8月11日(日) | 8月12日(月・休) |
|-------|-------------------------------|--------------------|--|
| 7:00 | | 起床 | 起床 |
| 8:00 | | 朝食 | 朝食 |
| 9:00 | ※受付後、受講生は 展示室への入室ができます。 | 記念写真 | |
| 10:00 | | 研究会Ⅰ (選択制) | 研究会Ⅱ (選択制) |
| 11:00 | | | |
| 12:00 | 12:00 受付(～13:30まで) | 昼食 | 昼食 |
| 13:00 | 12:30 ビデオ上映「西田幾多郎」 (希望者のみ) | | |
| 14:00 | 13:30 開講式 | (続き) | (続き) |
| 15:00 | 14:00 講演会Ⅰ (公開) | 14:30 | 14:30 |
| 16:00 | 16:00 オリエンテーション | 14:45 講演会Ⅱ (公開) | 14:45 閉講式 |
| 17:00 | 16:30 墓参 | 16:45 | 15:15 |
| 18:00 | 17:30 落日拝・夕食 (海岸) | 17:00 研究発表 |  |
| 19:00 | | 18:00 夕食 | |
| 20:00 | 入浴・自由討論 | | |

公開講演会

※受講生以外も聴講できます。(1回500円、申込不要)

8/10(土) 講演会Ⅰ 「京都禅哲学」の諸相

14:00～

— 『十牛図』から見た西田・西谷・上田の「場所」論再考—

森 哲郎 (京都産業大学教授)

8/11(日) 講演会Ⅱ 西田における絶対無と個

14:45～

美濃部 仁 (明治大学教授)

講演会・研究会講師プロフィール

森 哲郎 (もり てつろう)

京都大学大学院で学ぶ。京都産業大学教授。専門は宗教哲学・禅思想。著書『日本発の「世界」思想〔哲学/公共/外交〕(共編)、『禅と京都哲学』(共著)等。

美濃部 仁 (みのべ ひとし)

京都大学で上田閑照に学ぶ。日本フヒテ協会会長、明治大学教授。心茶会会員。専門はドイツ近代哲学、日本哲学。論文に「西田における知と絶対無」等。

大橋 容一郎 (おおはし よういちろう)

上智大学大学院で学ぶ。日本カント協会会長、上智大学教授。専門は認識論、近現代哲学、文化交渉学。長年、音楽分野でも活動。著書・作品『カント全集』(共著)、『遠野幻燈』(作詞)等。

大熊 玄 (おおくま げん)

金沢大学大学院で学ぶ。西田哲学館副館長、立教大学准教授。専門は仏教学・西田幾多郎・鈴木大拙。著書『鈴木大拙の言葉—世界人としての日本人』等。

鈴木 亮三 (すずきりょうぞう)

東北大学大学院で学ぶ。岡山大学客員研究員。専門は近現代哲学思想。著書『ヘーゲル講義録入門』『ヘーゲルと現代社会』(共著)等。

石井 砂母亜 (いしい さもあ)

上智大学大学院で学ぶ。跡見学園中学校高等学校教諭、青山学院大学等講師。専門は西田哲学、キリスト教思想。論文「西田哲学とキリスト教:永遠・時間・愛」(博士論文)等。